

令和元年度

「運営に関する計画・自己評価」（最終評価）



令和2年3月10日

大阪市立塩草立葉小学校

## 1 学校運営の中期目標

## 現状と課題

本校は、学校教育目標「豊かな心をもち、自ら考え、正しく判断できる子どもを育てる」のもと、人権尊重を基盤とした教育活動を推進している。子どもが健やかに成長し、心豊かに生きるため、学力や体力とともに、基本的な生活習慣、自尊感情などをトータルにはぐくむよう、全教育活動を通して取り組んでいる。保護者や児童アンケート等では、教育活動に対して肯定的な回答がほとんどで、取り組みの成果があらわれている。今後も、家庭、地域と連携して安全な社会の実現と学力・体力の向上に努めていく。

## 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

※平成28年度⇒平成29年度⇒平成30年度⇒令和元年度

<全国学力・学習状況調査（6年生）より> 4月に実施

- 「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合 **※74%⇒67%⇒84%⇒69%**

<大阪市小学校学力経年調査（3年生以上）より> 12月に実施

- 「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答える児童の割合 **※73%⇒76%⇒81%⇒83%**  
※自尊感情をさらに育成する。

- 「朝食は毎日食べますか」の項目で、「あまりしていない」「まったくしていない」と答える児童の割合 **※22%⇒20%⇒10%⇒10%**

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の項目で、「あまりしていない」「まったくしていない」と答える児童の割合 **※24%⇒22%⇒21%⇒23%**

- 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目で、「あまりしていない」「まったくしていない」と答える児童の割合 **※14%⇒13%⇒14%⇒10%**

- 「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答える児童の割合 **※93%⇒93%⇒93%⇒95%**

<保護者アンケート（全学年）より> 2月に実施

- 「学校は、人権を大切にする教育に努めている」の項目で、「当てはまる」「やや当てはまる」と答える保護者の割合 **※85%⇒89%⇒86%⇒88%**

※人権教育の取組みをさらに充実させる。

## 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力の向上】

<全国学力・学習状況調査（6年生）より>

- 正答率が大阪市平均、全国平均を上回った問題

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大阪市平均以上	国語B、算数A・B	国語A・B、算数A・B	算数A・B	なし
全国平均以上	算数A	算数A	算数A・B	なし

<大阪市小学校学力経年調査より>

- 「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目で、「30分より少ない」「まったくしない」と答える児童の割合

※16%⇒13%⇒16%⇒15%

※学習習慣をさらに定着させる。

- 全体の標準化得点

※104.0⇒104.0⇒100.5⇒101.0

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目で、肯定的に答える児童の割合

※76%⇒82%⇒80%⇒80%

<その他>

- 近年、渡日などで編入（転入）する外国人児童が急増しており、日本語指導が必要である。生活言語はもとより、学習言語に支障が生じることが多く、継続的な支援が課題である。

※7人⇒12人⇒10人⇒11人

※母語:韓国・朝鮮、中国、タガログ、ベトナム、ウクライナ、モンゴル

#### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための体力の向上】

<全国体力・運動能力、運動習慣等調査より> 5年生 6月に実施 全8種目

- 大阪市平均を上回った種目数（男・女）

※男・女 1・4⇒7・4⇒1・5⇒2・3

- 「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合

※男・女 80%・75%⇒80%・72%⇒93%・95%⇒87%・85%

<その他>

- 平成30年度3学期より児童数増加に伴う校舎増築工事が開始。運動場の狭隘化が進むため、日常的、計画的な体力づくりが必要である。

中期目標（平成29年度から令和2年度までの4年間で達成をめざす成果目標）

#### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和2年度の大坂市小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を平成28年度（73%）より向上させる。

※73%⇒76%⇒81%⇒83%

- 令和2年度末の保護者アンケートにおける「学校は、学年に応じて、子どもに人権を大切にする意識を育てようとしている」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を平成28年度（85%）より向上させる。

※85%⇒89%⇒86%⇒88%

#### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和2年度の大坂市小学校学力経年調査の質問紙調査で、「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目で、「30分より少ない」「まったくしない」と答える児童の割合を平成28年度（16%）より減少させる。

※16%⇒13%⇒16%⇒15%

- 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を平成28年度（男子80%、女子75%）より向上させる。

※男・女 80%、75%⇒80%、72%⇒93%、95%⇒87%、85%

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小学校）（大阪市教育委員会が設定）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合を95%以上にする。**100%**
- 大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。**95%**
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。

**2月末現在 前年度と同数**

- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

**2月末現在 前年度より減少**

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

- 大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。**4年 2.7ポイント増。5年 0.7ポイント増。6年 4.4ポイント増**
- 大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。**4年 8.3ポイント減。5年 4.3ポイント減。6年 8.4ポイント減**
- 大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上増加させる。**4年 2.8ポイント増。5年 4.6ポイント増。6年 29.2ポイント増**
- 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。**80%（前年度と同じ）**
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を、男女とも前年度より増加させる。  
**男87%（6%減少）、女85%（10%減少）**

## 3 本年度の自己評価結果の総括

全市共通目標の達成に向けて、教職員が課題と具体的な方策を共有しながら、さまざまな教育活動を行った。

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和元度2学期末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合は、95%以上であった。今後も、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努める。
- 令和元年度の大坂市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合は95%以上であった。
- 令和元年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数は前年度と同数であった。教職員全体で、生活指導支援員や関係機関と連携して対応している。
- 令和元年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合は、前年度より減少した。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和元年度の大坂市小学校学力経年調査における、同一母集団で比較した標準化得点は、いずれの学年も前年度より向上した。

**4年2.7ポイント増。5年0.7ポイント増。6年4.4ポイント増**

- 大坂市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童を同一母集団で比較した割合は、いずれの学年も前年度より減少した。

**4年8.3ポイント減。5年4.3ポイント減。6年8.4ポイント減**

- 大坂市小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童を同一母集団で比較した割合は、いずれの学年も前年度より増加した。

**4年2.8ポイント増。5年4.6ポイント増。6年29.2ポイント増**

- 令和元年度の大坂市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、前年度と同数であった。

**※76%⇒82%⇒80%⇒80%**

- 令和元年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を、男女とも前年度より増加させる。

**※男93%⇒87%、女子95%⇒85%**

※令和2年2月に実施した保護者や児童へのアンケート結果では、教育活動に対して肯定的な割合の回答が多く、これまでの取り組みの成果があらわれている。特に、「わからない」の回答が減少しており、学校からの発信が一定の成果を上げていると思われる。

今後も、学校と家庭、地域が連携して安全な社会の実現と学力・体力の向上に努めていく。

### 【保護者アンケート(全学年：肯定的な回答) (平成30年度⇒令和元年度)】

- 学校は、学校だよりやHP、学年だより、配付文書、授業参観、懇談会等を通して、教育内容や教育方針をわかりやすく伝えている。

**※97%⇒97%**

- 学校は、子どもの学力を高めるように努力している。

**※86%⇒88%**

- 学校は、子どもの健康面や体力づくりなどに努めている。

**※93%⇒92%**

- 子どもは、学校が楽しいと言っている。

**※91%⇒90%**

### 【児童アンケート（全学年）：肯定的な回答】 (平成30年度⇒令和元年度)

- 学校へ行くのは楽しい。

**※97%⇒95%**

- 授業の内容はよくわかる。

**※93%⇒94%**

- 場に応じたあいさつができる。

**※91%⇒92%**

- 自分にはよいところがあると思う。

**※92%⇒90%**

## 大阪市立塩草立葉小学校 令和元年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標（小学校）</b></p> <p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</b></p> <p>○いじめの未然防止と早期発見、早期対応をすすめる。</p>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回以上、「学校いじめ防止基本方針」を改訂する。 ⇒ 1学期に改訂</li> <li>・「いじめについて考える日」5／13に、全学級でいじめ防止の取組みを行う。 ⇒ 全学級で実施</li> <li>・学期に1回以上、全学級でいじめについて実態調査を行う。 ⇒ 1学期に実施</li> <li>・月1回以上、全教職員で児童の実態について共通理解する。 ⇒ 毎月1回実施</li> <li>・年1回以上、「学校安心ルール」を改訂し、全学級で活用する。 ⇒ 1学期に改訂</li> <li>・生活指導支援員、SSW、SC、区役所（こどもサポートネット、子育て支援室、要対協等）、こども相談センター、民生委員・児童委員等と連携する。 ⇒ 生活指導支援員（週2回）、SC（隔月）、区役所、こども相談センター、民生委員・児童委員と連携強化</li> </ul>	B
<p><b>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</b></p> <p>○人権尊重の教育を基盤とした教育活動を推進する。</p>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての教員が、年2回以上校外で行われる人権研修会に参加する。 ⇒ 2回以上参加</li> <li>・人権教育実施計画（別紙参照）に基づいて、日常的、計画的に取り組む。 ⇒ 計画的に実施</li> </ul>	B

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応のため、「いじめについて考える日」に全校及び各学年・学級で啓発の取り組みを進めたり、学期に1回いじめの実態調査を行ったり、児童の実態の共通理解を毎月行ったりしている。それらを基に、関係諸機関とも連携し、全教職員が一丸となって、課題のある児童に関わっている。
- ② 人権教育実施計画に基づいて、人権尊重の教育を基盤とした教育活動（集団育成、平和教育、特別支援教育など）を推進することができている。  
また、校外で行われる人権研修会には、全教員が2回以上参加することができ、人権感覚の向上につなげることができた。

### 次年度への改善点

- ① ・登校しにくい児童が年々増えてきている。実態の把握や対応を今後も進める。

#### ※年間10日以上の遅刻数

※平成28年度⇒平成29年度⇒平成30年度⇒**令和元年度（2月末現在）**

1人 ⇒ 5人 ⇒ 13人 ⇒ **24人**

- ・児童虐待や愛着に課題のある児童、障がいのある児童への支援の仕方について研修を進め、さらに理解を深める。  
**⇒特別支援教育 香川大学 坂井教授（9月）、難波支援学校 出前授業（12月）**
- ・児童の実態の理解の場で、児童の顔が分かるように、学級写真や名簿をデータ化し、全教職員で把握できるようにする。
- ・下の学年が上の学年に「あこがれ」、上の学年が下の学年を「いいくしむ」の心を育てる場として、たての交流（異学年交流）は欠かせない教育活動であるが、年々少なくなっている。学校規模の変化や時数の兼ね合いなどを考え、可能な形で場を保障していく必要がある。
- ② ・人権教育実施計画を確認しながら、学級・学年の実態に応じた方法で、人権学習を進めていく必要がある。

## 大阪市立塩草立葉小学校 令和元年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標（小学校）</b></p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 H30 80% ⇒ R元 80%</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</b></p> <p>○すべての子どもに学習習慣を定着させる。</p>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学級で、週1回「朝の学習」を実施する。(英語モジュール、読み聞かせを含む) ⇒週1回以上実施</li> <li>・授業以外の学習機会を毎日設ける。(朝の学習、読書タイム、休み時間、放課後、英語モジュール、区役所まなび支援事業等) ⇒ほぼ毎日実施</li> </ul>	B
<p><b>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</b></p> <p>○教員の指導力向上をすすめる。</p>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学級で、年1回以上研究授業を行う。 ⇒年1回以上実施</li> <li>・すべての教員が、年2回以上校外で行われる研修会に参加する。 ⇒2月末現在で1回以上参加</li> </ul>	B
<p><b>取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</b></p> <p>○渡日等の子どもへ必要な支援を行う。 ⇒外国人児童は、2月末現在で28人 国籍は、多い順に中国、韓国、ベトナム、フィリピン、モンゴル、インド。</p>	
<p>・必要な子どもに、日本語指導協力者派遣事業やセンター校通級指導、浪速区日本語サポーターを活用する。</p> <p>⇒日本語指導協力者派遣事業やセンター校通級指導を活用した児童は、令和2年2月末現在で、11名（国籍は、中国、韓国、フィリピン、ベトナム、ウクライナ）。 浪速区日本語サポーター（2名登録）は、2月末現在で332時間活用。 子ども民族交流会や中国語弁論大会、国際クラブ、となりの国の学習、区内の日本語読み書き教室、通訳ボランティアの活用。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>① 朝学習など学習習慣の定着に努めているが、家庭の状況、本人の意欲などの理由で、すべての児童には定着しきれていないのが現状である。</p> <p>② 全学年で研究授業を計画し、講師を招聘しての研修、研究討議を行い、指導力向上に努めている。</p> <p>③ 渡日児童に対して、日本語教室への通級やサポーターを配置するなどして対応している。1～3年生には、日本語指導協力者と同担による日本語指導、4～6年生にはセンター校通級指導で支援している。</p>
次年度への改善点
<p>① 研究教科が国語になったので、火木の朝学習に視写や漢字・意味調べなど内容を決めて取り組む。</p> <p>② 研究討議の方法を工夫し、更なる指導力の向上を目指す。</p> <p>③ 渡日児童支援対策委員会で、支援の方法を学校として考え、渡日児童が安心して学校生活を送れるようとする。</p>

## 大阪市立塩草立葉小学校 令和元年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b> <b>全市共通目標(小学校)</b> ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。 H30 男93%、女94.7% ⇒ R元 男87.1%、女85.1%	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</b> ○子どもの体力・運動能力向上のための取り組みをすすめる。  <b>指標</b> • 体力向上週間を年2回以上実施する。 ⇒ 2、3学期に各1回設定 • 姿勢体操を月2回以上実施する。 ⇒ ほぼ週1回実施 • 外部講師による体育特別授業を年1回以上実施する。 ⇒ 8／28 ラジオ体操特別授業（NHK講師）	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>体力向上については、校舎増築に伴い、運動場が狭くなつたため、従来のかけ足の取り組みができなくなつた。代わりに11月下旬～12月上旬にかけて、縄跳びの取り組みを進める予定である。また、3学期にも同様に行う予定である。</li> <li>姿勢体操を月に2回以上（ほぼ週1回）実施している。</li> <li>外部から講師に来ていただき、ラジオ体操を行つた。体の各部位をしっかりとほぐすやり方を学び、能力発揮や技術の向上につながると感じた。</li> </ul>
次年度への改善点
特別授業は、全学年行うことが望ましい。（低学年は、鉄棒の講師に来てもらえないだろうか）

# 令和元（2019）年度 人権教育実施計画

大阪市立塩草立葉小学校

## 【1】人権教育推進体制の組織

- 人権教育部（校務分掌）
- 人権教育推進委員会（校長、教頭、同和教育主担、教務主任、生活指導部長、外国人教育主担、特別支援教育主任、各学年代表者）
  - ・人権教育教材集・資料、人権教育読本「にんげん」の実践、授業研究
  - ・人権・同和教育の推進
- 浪速人権・同和教育推進協議会（同推協）
  - ・専門部会
  - ・新転任同和問題研修会

## 【2】人権教育の内容

- 「集団育成」に関する事項
  - ・学年・異学年間の学年での集団育成活動
  - ・色別たてわり活動  
(児童集会・塩草立葉ゲームフェスタ・卒業祝い集会・たてわり清掃等)
  - ・保・幼・小・中との交流活動
    - ※幼稚園・保育所との交流（昔遊び 1年生）1～2月
    - ※難波中学校下3校交流  
(中学校体育大会 6年・なごわ子ども人権文化祭 6年・部活動体験 6年 等)
    - ・地区子ども会（集団登校・下校）
    - ・フレンズ・カップ・オブ・ナニワ（10月20日）
      - ※バレーボール、ソフトボール（昨年度、ソフトボールからドッジボールへ変更）
      - ※チーム編成から当日まで10回程度、放課後に練習する。
      - ※対象者は、3～6年生の参加希望者
- 「部落問題学習」に関する事項
  - ・太鼓正の見学・「塩草立葉のリズム」練習 4年生 11～12月
- 「特別支援教育」「高齢者問題」に関する事項
  - ・難波支援学校との交流
    - ※なんば祭（学芸会） 5年生 11月ごろ
    - ※作品展見学 2学生 2月12日、4年生 2月13日
  - ・障がい理解への取り組み（ゲストティーチャー）  
盲導犬学習（3年生）、車いす体験（4年）、アイマスク体験（5年生）
  - ・特別支援学級児童の学力保障
  - ・特別支援学級以外の配慮を要する児童への支援
  - ・地域の高齢者との交流活動 昔遊び交流 1年生 1～2月

- 「外国人教育」「国際理解」「多文化共生」に関する事項
  - ・となりの国の学習（民族講師を招いての学習） 全学年
  - ・多文化理解への取り組み
  - ・「国際クラブ」の開設（申請中 学期1回）
  - ・渡日児童への日本語指導ならびに支援
- 「平和教育」に関する事項
  - ・平和・人権登校日（8月6日） 全学年
  - ・人権に関する作品制作 全学年
- 「性教育」に関する事項
  - ・性教育年間計画に基づいた学習実施
- 「学力保障」の取り組みについて
  - ・子どもの実態に応じた複数教員によるきめ細かい指導
  - ・1～6年生の「朝学習」（英語モジュール学習など）
  - ・必要に応じて夏季休業中の各学年による補習
- その他
  - ・人権ポスター（平和 5年） ※浪速区で人権展開催の場合は全学年

### 【3】人権研修・地域連携

- 人権・同和教育の研究・研修
- 各学級もしくは学年による人権教育実践報告会
- 「子どもの様子」報告 毎月職員会議後
- 特別支援教育全体会（年2回）
- 外国にルーツをもつ児童の実態把握
- 大阪市人権教育研究協議会（市人教）の活動参加
  - ・市人教大会・分科会報告 6月21日（金）、22日（土）
    - ※本校からは、毎年実践報告を発表（1本）
  - ・市人教夏期研究会 7月31日（水）
  - ・浪速区人権教育講演会 9月11日（水）
  - ・浪速区人権教育公開授業 12月
  - ・浪速区人権教育実践交流会 1月22日（水） 本校が報告
- 浪速人権・同和教育推進協議会（浪速同推協）
  - ・各専門部会の研修会および新転任同和問題研修会への参加
- 浪速読み書き教室のボランティア講師（毎週金曜日 19：00～21：00）
- 部落解放・人権教育夏期講座：高野山 8月21日（水）～23日（金）
- 全国人権・同和教育研究大会：三重県津市 11月30日（土）、12月1日（日）
- 浪速地区人権・同和教育研究集会（隔年：今年度実施）
- なにわ人権教育ネットワーク（人権ネット）の活動参加
  - ・講演会「区民の夕べ」 8月6日（火）
- 浪速・西・港・大正人権展（12月） ※今年度は西区で開催
  - ・児童の作品展（図工の作品・標語など）人権ポスター見学
  - ・人権展見学 ※浪速区で開催されるときのみ